

浜田市議会議長 笹田 卓 様

議員名 大 谷 学

調 査 研 究 活 動 報 告 書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和 5 年 11 月 24 日(金)～26 日(日)

2. 視察内容

第 4 回 全国未成線・廃線サミット in 高千穂

「鉄道遺産からの挑戦」

鉄道路線として計画されたが未完成のまま中止された未成線跡、利用者の減少や自然災害等で余儀なく営業廃止となった廃線跡、さまざまな可能性に挑戦している各地の事例発表やディスカッション等を通して、全国の未成線・廃線地域の人達と情報を共有し、鉄道遺産有効利用の方策や保存等について共に考える。

3. 視察先

宮崎県西臼杵郡高千穂町	ホテル高千穂(サミット会場)	25 日 13 時～16 時 30 分	
〃	〃	高千穂神社(夜神楽会場)	25 日 21 時～22 時
〃	〃	高千穂町内(エクスカーション)	26 日 9 時～12 時

4. 調査経費 37, 239 円

経費内訳： 浜田市 ⇒ 延岡市前泊 ⇒ 高千穂町 ⇒ 浜田市

交通費 (レンタカー、高速、ガソリン)	16.404 円
宿泊費(駐車料含む)	16.835 円
参加費(エクスカーション、夜神楽)	4.000 円

5. 調査研究活動の概要

(別紙のとおり)



【高千穂町の概要】

宮崎県の北西部、九州山地の中に位置しており、町域の北西部から北部にかけては熊本県に接し、北部から北東部にかけては祖母山(標高 1,756m)を挟んで大分県と接する。町域西部から南東部に向かって五ヶ瀬川(ごかせがわ、全長 106km)が流れる。町の中央部にある宮崎交通高千穂営業所の周辺地域が町の中心部となっている。町中心部からやや南側の高千穂峡(たかちほきょう、正式には五ヶ瀬川渓谷)に代表される豊かな自然環境や神話にゆかりの神社と言った観光資源を有する宮崎県内随一の観光地として有名である。

「人口:10,789 人(2023.11.1) 面積:237.54 km² 町の木:おがたまの木 花:ふじ 鳥:ホオジロ」

【第 4 回 全国未成線・廃線サミット in 高千穂について】

会場:国民宿舎 ホテル高千穂 参加人数:200 名弱

主催者:実行委員会 会長 高千穂町長 甲斐 宗之 氏

プログラム 1:開会式 2:活動事例発表 3:トークイベント 4:大会引継式 5:閉会

1 高千穂線未成線、廃線になった背景とサミット名称について

昭和の国鉄時代に宮崎県延岡市から、高千穂町を経て熊本県高森町まで繋がる九州中部横断鉄道となる予定であったが、国鉄再建法により高千穂・高森間の工事は 70%を残して中断となり高千穂から高森までの間は未成線となった。また高千穂から延岡間は平成 17 年の台風災害により橋梁や駅舎、線路の一部が流失し平成20年末に廃線が確定した。全長 50 キロの旧 TR 高千穂鉄道施設があることから新たに「未成線」に「廃線」を加え、「未成線・廃線サミット」とした。(これまでは全国未成線サミット)



サミット開会の挨拶 甲斐高千穂町長



オープニングで壮観劇場として上映 (地元ケーブル TV 制作)

2 活用・活動事例

●高千穂線跡 (未成線地)

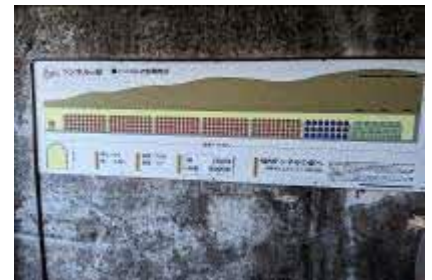
延岡と熊本を結ぶ予定であった「九州中部横断鉄道」の名残の、総延長 1,115mのトンネルを利用した神楽酒造の焼酎貯蔵庫がある。無料見学で国道 325 号線沿いの高千穂物産館「トンネルの駅」



トンネルの駅正面 トンネル焼酎貯蔵庫



温度 17°C・湿度 70%共に安定しており貯蔵に最適



樽(440ℓ)4段 1,300 樽 一升瓶換算 18,000 本

(廃線跡地)

もう一度走らせたいという思いで、当初は駅構内にて手押しのカートで運行していたが、少しずつ改良を加え、現在は高千穂町内の鉄道施設跡、片道 2.6Kmの軌道上にグランド・スーパーカートという乗り物を運行している。(雨の日はカッパを着て運行、高架橋を走行するため風力基準があり運行中止もある)



グランド・スーパーカート (オープン)



たくさんの観光客が見送りにくれます。(体験乗車賃 1,800 円)



高千穂鉄橋で停車 眼下を見渡せます

その他取組

* 高千穂線の歴史を伝える全線再現ジオラマ制作依頼し、2023 年 12 月末資料館を開館予定

* 安全対策としてカートは、年 4 回(3 ヶ月毎)点検整備、バイオディーゼル燃料で運行(R4.8~)

●とことこトレイン(未成線地) 山口県岩国市

錦川清流線錦町駅から、そう津峡温泉駅までの約 6kmを走る観光用の電動トロッコ列車。

トンネル内に短大生や地元の小学生・園児が制作したデザインを基に 6 色の蛍光石で壁画を制作「きらら夢トンネル」と命名され幻想的な光景を生み出している。累計で 47 万人利用、観光スポット

●高森湧水トンネル公園(未成線地) 熊本県高森町

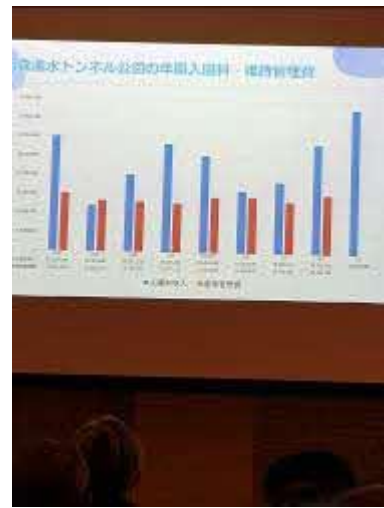
高森トンネルの掘削工事中に異常出水で工事中止。全長 2.055mのトンネル内のうち 550mを高森湧水トンネル公園として整備して一般開放している。トンネル内は年間を通して夏は涼しく冬は暖かい。一番奥には光のイリュージョンを楽しむことができる「ウォーターパール」、七夕まつりや、クリスマスファンタジーを開催していて、現在では、年間 11 万人が訪れる観光スポット。



白川水系最源流 高森湧水トンネル



R5 年度は年間 137,000 人入園者予定 維持管理費(約 2 千万弱)をカバーする年間入園料(3 千 8 百万)



●高千穂線跡(廃線跡地) 宮崎県日之影町

高千穂鉄道を歴史的な遺産として保全・継承し、各事業に取り組んでおり、無償譲渡を受けた列車 2 両を回収して TR 列車の宿、駅舎の切符売り場を利用した「鉄道資料館」、ホーム敷地内に「天然足湯」、橋梁やレール、枕木の上を歩き、列車に乗った気分で森林ウォークを楽しめる。

3 トークイベント テーマ「鉄道遺産からの挑戦」 登壇者 俳優:六角 精児氏 甲斐町長

六角氏・・・鉄道ファンで知られている。鉄道とお酒とともに日本を再発見する番組は人気シリーズ。

車窓から観る景色が好き、地域の人が好き、地域の話を知ることが好きな俳優である。

Q: 高千穂の未成線・廃線をどうやってみなさんに知らせ残していけるか？

A: 地域の人を楽しんで取り組んでいることが大事で、今までと違う工夫も必要である。チャットを活用して情報発信や、未成線・廃線だけでスタンプラリー(六角ラリー)をして、全国制覇を呼びかけてはどうか？(廃線跡の御朱印を提案された方がおられ、今、取組中とのこと)

甲斐高千穂町長

A: 鉄道ファンは全国にいる。行政としては残すことにお金がかかるが、鉄道遺産だからこそ、全国から応援してもらうことができるのではないかと。高千穂はこれから自然環境が注目されるから、それに併せて鉄道公園化構想をもっており、文化財としての取組をしたい。

4 高千穂の夜神楽(国指定重要無形民俗文化財)拝観

高千穂地方に伝承されている神楽は、天照大神が天の岩戸に隠れられた折に、岩戸の前で天鈿女命が調子面白く舞ったのが始まりとされており、毎年 11 月の中旬から翌年 2 月上旬にかけて各村々で 33 番の夜神楽を実施して、秋の実りに対する感謝と翌年の豊作を祈願するもの。高千穂神楽は 365 日毎晩 20 時より高千穂神社で 1 時間、夜神楽 33 番の中から代表的な 4 番を公開している。(当日は特別に 21 時から 1 時間サミット参加者のために舞っていただいた。)



高千穂神社神楽殿 拝観料 1,000 円



25 番 手力雄の舞

代表的な 4 番

25 番: 手力雄の舞(てぢからお)

26 番: 鈿女の舞(うずめ)

27 番: 戸取りの舞(とと)

15 番: 御神体の舞(ごしんたい)

5 エクスカーション(高千穂町内)参加

エクスカーションとは、従来の見学会や説明を受けるタイプの視察とは異なり、訪れた場所で案内の解説に耳を傾けながら参加者も意見を交わす。「体験型の見学会」

- 高千穂あまてらす鉄道乗車 施設内見学
- トンネルの駅 施設内見学等
- 高千穂峡

【所感】

- 今回の高千穂でのサミットから未成線に加え廃線も対象となった。高千穂には熊本県高森町との間が未成線で、延岡との間が廃線に該当するからである。未成線の方はトンネル内が焼酎の貯蔵庫に活用されていたが、橋脚は撤去されているので説明を受けなければ分からない状態であった。廃線の方は線路が残っているため「高千穂あまてらす鉄道株式会社」として片道 2.6 kmの軌道上に 60 人乗りグランド・スーパーカートを運行し、高さ 105m の橋梁からの風景をたのしみに観光客で賑わっていた。軌道が残っているか否かで活用の幅が違うことを実感した。
- 平成 17 年 9 月の台風 14 号による甚大な被害を受けたことによって平成 20 年 12 月をもって高千穂線は廃止・廃線となったが、高千穂あまてらす鉄道株式会社専務取締役の斎藤氏のように復活を諦めず活動する姿には敬服する。熱い思いを持って行動することの大事さを改めて学ぶ機会となった。
- 高千穂は夜神楽が有名で国の重要無形民俗文化財に指定されているが、世界遺産への登録も目指しているとのことであった。石見神楽発祥の地である浜田の石見神楽は文化財指定が遅れている。発祥の地を自負するだけでは他地域に先を越されることになる、文化的資産を適切に認証するために早急な文化財指定に取り組む必要があると改めて感じた。
- 高千穂町への移動途中の日之影町において「世界農業遺産登録地」の看板を国道沿いに発見をした。調べてみると世界農業遺産とは、次のようなことであった。

世界農業遺産および日本農業遺産は、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、ランドスケープ(*1)およびシースケープ(*2)、農業生物多様性(*3)などが相互に関連して一体となった将来に受け継がれるべき重要な農林水産業システムを認定する制度

 - *1, ランドスケープ ; 土地の上に農業水産業の営みを展開し、それが呈する一つの地域的まとまり
 - *2. シースケープ ; 里海があり沿岸海域で行われる漁業や養殖等によって形成されるもの
 - *3. 農業生物多様性; 食糧および農業と関わりのある生物多様性および遺伝資源が豊富であること

世界農業遺産について知ると、約3,300人の日之影町が地域の発展を目指して研究し、世界的あるいは全国的な認知を得ていこうとする強い姿勢を感じた。このような認証を得るためには歴史的にも文化的にも地域を熟知して誇りに思い、住民の理解と結束の賜であろうと感じた。その意味に於いて浜田はもっと意識を高めて行動しなければと感じさせられた。
- 浜田の旧今福線のボランティア団体との方々とも交流することができ、今後の活動の弾みとなる有意義な視察となった。